

岳連  
ニュース

## 宝 永

URL: <http://www.shizuokam.com>(一社)静岡県山岳・スポーツ  
クライミング連盟〒420-8076  
静岡市駿河区八幡3-1-17  
TEL(FAX) 054-288-7512  
編集発行/総務委員会  
令和6年6月24日発行

第47号

令和6年度定時総会開催  
事業計画予算承認される

令和6年度の定時総会が、5月18日静岡市の「あざれあ」で開催され、令和5年度の事業報告・会計決算報告、令和6年度の事業計画案・収支予算案、理事選任案が加盟団体代表者や個人会員の出席のもとで審議された。木ノ内会長から「昨年度は、コロナ禍以前の状況に戻り、ほぼすべての事業が実施できた1年であった。山岳部門での各登山教室、冬山講習会、スポーツフェスタなど多くの参加者による事業となった。またJMSCA登攀技術研修会が静岡県で開催され、全国から多くの



受講生が浜松の地に集まった。クライミングでは、鹿児島国体での少年女子の大活躍があった。全国高校総体でも登山の部で富士高女子が4年ぶり3回目の優勝、男子も沼津東高が第3位と活躍した。昨年4月から毎週掲載された静岡新聞の「山ある記」のコラム欄では、連盟傘下の山岳団体が持ち回りで執筆をし、1年間県内の山々の紹介を行うことができた。本年度も山岳部門とスポーツクライミングの県内統括団体として、連盟の更なる発展を図っていききたい。」との挨拶があった。

## 【事業報告・決算報告】

事務局長が総務関係を説明し、指導遭対・競技・

国際関係を各委員長の説

明がおこなわれた。特に、

JMSCAの全国登攀技術研

修会が浜松市息神社で受

講生30名(本県2名)、

講師・役員が13名(本県

7名)の参加で実施でき

たこと、初級ヒマラヤ登

山を4月末から5月実施

したが、天候不順でナヤ



カン峰登頂できなかった旨報告があった。

収支決算では、静岡新聞コラム執筆代金のうち千円を事務費徴収したこともあり、4万5千円余の黒字となった決算報告があった。

監事から適正な処理と認められるとの会計監査報告があった後に、採決が行われ事業報告と決算報告は承認された。

## 【事業計画案と収支予算案】

事業計画では、前年度同様の事業とともに、新たにアイスクライミングの体験教室を計画していること、竜爪山岳競技会を高草山岳レースと改めて、高草山での開催を予定していることが説明された。収支予算については、

前年度決算を参考に作成したが、会費の減や管理経費の増などで、全体としては4万2千円余の赤字を見込んでいる。採決が行われ、事業計画案と収支予算案は異議なく承認された。

【報告事項等】  
本年度のスポーツフェスティバル登山大会は西部ブロックが担当、10月27日に掛川市粟ヶ岳で開催、日帰りの周回コースを計画している。

理事長からJMSCAの悪化している財務状況、基金拠出での改善への取組みについての説明があった。(鈴木雅春)

## 令和6年度主要事業計画

|                                   |                        |                   |
|-----------------------------------|------------------------|-------------------|
| 指導者研修会(兼スポーツ指導者資格更新研修会)           | 2025/1/26(日)           | 未定                |
| 冬山登山講習会                           | 2025/2/1(土)~2/2(日)     | 富士山双子山周辺          |
| 第62回登山指導者講習会                      | 2025/2/1(土)~2/2(日)     | 富士山双子山周辺          |
| 山岳レスキュー講習会                        | 2024/6/15(土)           | 静岡市あざれあ           |
| 夏山登山教室 座学Ⅰ 装備・読図等                 | 2024/6/19(水)           | 静岡市あざれあ           |
| 夏山登山教室 座学Ⅱ 気象・歩行等                 | 2024/7/17(水)           | 静岡市あざれあ           |
| 夏山登山教室 実習Ⅰ 山伏                     | 2024/6/30(日)           | 山伏                |
| 夏山登山教室 実習Ⅱ 北アルプス 唐松岳              | 2024/7/27(土)~7/28(日)   | 唐松岳               |
| 秋山登山教室 座学(山の炊飯宿泊装備等)              | 2024/9/18(水)           | 未定                |
| 秋山登山教室 実習 立山 大日三山                 | 2024/9/28(土)~29(日)     | 立山 大日三山           |
| 雪山を楽しむ講習会 座学(雪山の楽しみ方と安全心得・装備知識)   | 2025/2/12(水)           | 未定                |
| 雪山を楽しむ講習会 実習 夢科山                  | 2025/2/23(日)           | 夢科山               |
| アイス・クライミング体験教室 裏三ツ峠               | 2025/2/15(土)           | 裏三ツ峠              |
| 第78回国スポSC競技静岡県予選会                 | 2024/4/27(土)           | ブルーキャニオン・サニーロック富士 |
| 第45回東海ブロック大会                      | 2024/7/13(土)~7/14(日)   | 愛知県               |
| 第78回国民スポーツ大会                      | 2024/10/12(土)~10/14(月) | 佐賀県               |
| 第26回県高校クライミング競技大会(兼全国高校選抜大会選手選考会) | 2024/11/2(土)           | スクエアクライミングセンター    |
| 第15回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会       | 2024/12/21(土)~12/22(日) | 加須市民体育館           |
| 第18回静岡県高等学校・ユースボルダー競技大会           | 2025/1/13(月)           | ピンティクライミングジム      |
| クライミングコンテスト 9月大会                  | 2024/9/16(月)           | スクエアクライミングセンター    |
| クライミングコンテスト 11月大会                 | 2024/11/23(土)          | ブルーキャニオン富士        |
| クライミングコンテスト 2月大会                  | 2025/2/11(火)           | スクエアクライミングセンター    |
| クライミングコンテスト 3月大会                  | 2025/3/20(木)           | サニーロック富士          |
| 高草山岳レース                           | 2024/12/8(日)           | 高草山               |
| 第18回しずおかスポーツフェスティバル登山大会           | 2024/10/27(日)          | 粟ヶ岳               |



# 国スポ静岡県予選会 4種別フルエントリー少男本国体へ

本年度より国民スポーツ大会(旧国民体育大会)と名称を変えたスポーツクライミング競技の予選会が26名(内ユース男子2名、女子6名含む)の参加を得て、4月27日に午前中にサニールロック富士でボルダー競技、午後にはブルーキャニオンに移動してリード競技が行われました。また本年度から、県で選抜された選手が直接本大会に出場できる種別が、これまでは成年男子に固定されていたものが、各ブロックで年度ごとに変わる形に変更されました。本年度(佐賀県)は、東海ブロック



表彰選手



成男リード

クは少年男子がそれに該当し、残りの3種別(成年男子・成年女子・少年女子)は7月に行われる東海ブロック大会で代表枠をかけて争われます。ボルダー競技は4課題のベルトコンベア式で行われ、まず、少年女子は3完登をした3名のうちアテンプト数で永嶋さん1位、狩野さん2位、堀内さんが3位となった。少年男子は、4完登した船越君が1位、宮川君が2位につけた。成年男子は鈴木さんが1位、成年女子は勾坂さんが1位で通過した。

午後のリード競技は、男子は、メイン壁の右下からダイレクトに抜ける成年男子と少年男子の共通ルートで、的確な登りで成年男子の鈴木さん、少年男子の宮川君が完登で1位。船越君も終了点に達したが惜しくも足がエリア外に流れ完登とはならなかったが宮川君と総合で1位を分け合った。少年女子は、メイン壁の左側を直上するルートで、狩野さんが最高到達点に達し、総合で1位となった。総合2位には、永嶋さんが入った。無理の多い中、両会場を設定していただいた市木さんをはじめ運営に関わっていただいた多くの方々に感謝申し上げます。また選手の方々の今後の健闘と活躍を期待したいと思います。大会上位の選手は以下の通り。

## クライミングコンテスト3月大会 パワーとバランスの課題に挑戦

3月20日にサニールロック富士店にて、R5年度最後のクライミングコンテストが行われた。男子18人、女子13人の参加となった。

予選はセッション方式で行われ、70分で12課題をトライした。パワー系、バランス系と各種の課題があり、総合力を問われる内容となる。男子では



少男ボルダー

- 【成年男子】1位 鈴木 大翔 2位 池田綱史  
【成年女子】1位 勾坂 みほ 1位 本多冬実  
【少年男子】1位 船越 琉生 1位 宮川幸大  
【少年女子】1位 狩野 風 2位 永嶋美智華  
【ユース男子】1位 矢澤日向汰 2位 岡部蒼空  
【ユース女子】1位 蒔田 遙 2位 鈴木希実 (諸戸 明)



8T、女子は9Tが決勝への条件となり、ゾーン差で進出が可能というレベルの高い予選であった。男子決勝は、1課題目は4人完登、2課題目は完登者が出ず、3課題目で5人完登、4課題目を2名が完登となった。結果3T4Zの2名がアテンプト差で、川口選手が優勝した。女子決勝は、1課題目から完登者が出ず、2課題目で2人完登者、3課題目で3人が完登するも、4課題目でも完登者が出なかった。唯一、2完登した伊藤選手が優勝となった。決勝では、男女とも4分間の競技時間の中で、課題に合わせて動きを調整する点が難しかったと感じる。全国規模の大会でも、ハリボテやデュアルホールドが多くなり、コーディネーションやバランス力を求められる課題が増えてきているので、総合力を育てられるような大会が開催できるようにしていきたい。

(山田幸裕)

### CC3月大会上位選手

| 男子 |        |          | 女子    |         |
|----|--------|----------|-------|---------|
| 1位 | 川口 太造  | 東海大翔洋中   | 伊藤 未唄 | 豊田中     |
| 2位 | 宮川 幸大  | 静岡市立清水一中 | 堀内 優里 | 藤枝市立大洲中 |
| 3位 | 中川 琥大朗 | 池新田高     | 狩野 風  | 浜松市立天竜中 |
| 4位 | 船越 琉生  | 静岡市立長田南中 | 山本 唯菜 | 静岡市立城山中 |
| 5位 | 矢澤 日向汰 | 静岡市立横内小  | 込山 虹来 | 静岡市立籠上中 |
| 6位 | 鈴木 大翔  | 県立藤枝西高   | 尾上 沙羽 | 東海大翔洋高  |





## 男子沼津東高 女子富士高 優勝 第72回県高校総体登山競技 愛鷹山系

5月25・26日、第72回静岡県高等学校総合体育大会登山競技が愛鷹山系で行われた。男子14チーム、女子11チームが全国大会及び東海総体への出場権をかけて熱い戦いを繰り広げた。

1日目は、桃沢野外活動センターをスタートし、水神社を通過し池ノ平まで登り、ここを折り返し、森林公園駐車場をゴールとするコース。2日目は、桃沢野外活動センターをスタートし、水神社、第



設営審査

1ゲート、愛鷹山登山口、稜線愛鷹山分岐、馬場平、袴腰岳、一服峠、一服峠下1240m地点をゴールとするコース。

ルとするコース。愛鷹山登山口では、熱中症対策として、スポーツドリンクの支給とともに10分間の強制休憩をとった。例年、気温の上昇により、体調不良を訴える選手が出るが、今回の大会では大きな気温の上昇はなく、登山行動をするに適した気温に感じられた。また、県大会では初めて看護師2名に医療サポートをしていただいた。

今回は、会場の利用の制限により、設営審査は行ったが、テント泊ではなく施設内に宿泊をした。また、炊事審査を行うこ

とができなかったため、全チームに炊事5点を与えた。審査項目は、行動(体力・歩行)、生活(装備・設営)、知識(天気図・課題テスト・読図・植生・計画書・記録書)、態度(マナー)



を審査した。男子は、優勝した沼津東と2位の富士の点差はわずか0.1点差。僅差で沼津東が2連覇を果たした。女子は優勝した富士と2位の静岡の点差も0.5点差とまさに接戦であった。富士は3連覇である。昨年の全国総体では、男子沼津東が3位、女子富士が優勝を果たした。本年度も全国総体、東海総体での静岡県勢の活躍に期待する。

入賞校は左記のとおり  
【男子】優勝 沼津東、2位 富士、3位 静岡、4位 藤枝東、5位 富士宮西、6位 静岡東  
【女子】1位 富士、2位 静岡、3位 富士宮西、4位 浜松日本  
1位は全国総体(福岡・英彦山)、2位、3位は東海総体(愛知・宇連山)へ出場。  
(鈴木重幸)

## 南ア春山相談所開設 沼平指導センター

南アルプスの春山相談所が、4月26日から5月6日までの11日間、沼平の指導センターで開設された。県対協静岡市支部からの要請により、県山岳・スポーツクライミング連盟から延べ19名の指導員を派遣した。また、警察の山岳救助隊員もその間延べ55名が常駐し、登山者の相談、指導及び天候や雪の状態などの情報提供を行い、安全登山の一翼を担った。

この期間の沼平からの入山者は、計65パーティで、男性96名、女性

パーティで、前半と後半に分かれての入山で、入山者の数はほぼコロナ前の数だった。

今年の積雪は少なく、気温は高かった。指導センターの朝は10度

前後だった。指導センターから仁田岳方面を見上げると、雪は沢筋にあるが山頂近くはあまりなかった。晴天を見極めての登山が多かった。なお、単独の登山者が多く安全登山に心がけてほしい。事故は、山梨県側からの入山者が5日に下山予定を過ぎたが帰宅しないとの届けがあり、救助隊は6日から捜索を行うことになったが、その後無事救助された。  
(滝田博之)

## 新聞掲載コラム 「山ある記」

昨年2月末静岡新聞社からの依頼で、令和5年度1年間、毎週水曜日「しずおかアウトドアフ



アン」に、県内の山歩きを加盟団体の会員に執筆してもらったことになった。最初毎週はきついなという声もあったが、東部・中部・西部に割り振ることとし、2か月分くらい先を見越して進めていつて何とかやりきることができた。

最初は木ノ内会長の天子ヶ岳・長者ヶ岳で、原稿と写真をメールで送ってもらい、事務局で確認し静岡新聞社に送信する。ゲラが出来上がるまでと作成者に確認し掲載されることになる。できるだけ場所が偏らないように配慮し、ブロック担当の理事等と相談し原稿を依頼した。

後半第3水曜日が休載となり合計で47コースが掲載された。原稿を一部カットしたり、写真の追加をお願いしたりと、担当していただいた方にはご苦労をおかけしました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

事務局(滝田博之)



## 第5回理事会

日時 令和6年3月11日(月) 18時30分～19時30分  
会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ5F 第五会議室  
出席者 理事 18名中15名 監事 2名中1名  
理事 木ノ内高嘉、内海廣治、鈴木重幸、滝田博之、出利葉義次、小林久二彦、増田浩二、篠崎勇、大石幸男、浅井徹、鈴木雅春、加藤敏美、小林玲子、岩田幸裕、諸戸明  
監事 望月保男  
司会 滝田事務局長 開会を宣言し木ノ内会長兼理事長の挨拶を求めた。  
挨拶 木ノ内会長  
1月の理事会以降、大きな4つの事業がスムーズに実施できており、3月20日のクライミングコンテストの事業で今年の事業は終了となる。JMSCAの赤字決算問題への対応として基金の募集等の取組みが提示されているが、皆さんのご意見を伺いたい。  
議長 木ノ内会長が議長となり議事進行。

## 1 報告・協議事項

## (1) 各委員会の報告

○指導・遭難対策委員会  
・1月21日、指導者研修会がスポーツ指導者23名と一般参加者11名によりアザレアで開催。福島県での安全登山指導者研修会の報告と静大村越教授による登山経験とリスクについての講演。村越教授から今後の研究のための調査依頼あり  
・冬山講習会が4年ぶりに2月3日4日と1泊2日で富士山御殿場口で開催、高校生46名をはじめ講師等を含め総勢75名、2日目は雪が降り雪山講習となった。  
・コーチ1講習は9月から実施し、3回目の講習を雪山で実施、当初6名の参加であったが最終的には4人に対して検定を行い全員が合格となった。  
登山計画書を作成する課題があったが、各団体ごとで様々でありエスケープの作り込みが不足。  
・雪山登山教室は、事前の座学講習は6名の参加、本番は参加者7名講師2名により車山で開催された。悪天候で視界が悪く、2時間程度で車山山頂で引き返した。

## ○国際委員会

・2月10日世界的クライマーの平出氏、中島氏の講演会をアザレアで、午前午後の2回約150名の参加により開催。  
○競技委員会  
・2月12日に浜松市のスクエアクライミングセンターでクライミングコンテストを33名の参加で実施。  
(2) 令和6年度通常総会資料、理事等役員について  
・5月18日13時30分から「あざれあ」で総会開催、役員は事前に参集を  
・議案として理事選任を予定しているが、藤枝山岳会選出の理事変更。  
・議案のうち令和5年度事業報告の記載内容について各委員会から修正箇所を確認を行った。(人数、日時等)  
・令和6年度事業計画について未記入で空白箇所についての確認を行った。  
○指導・遭難対策委員会  
・夏山登山教室については唐松岳を7月27日、28日で計画する。  
○競技委員会  
・競技委員会東海ブロック研修会が静岡県担当で

## 第6回理事会

日時 令和6年4月22日(月) 18時30分～19時30分  
会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」5階  
出席者 理事18名中16名 監事2名中2名  
理事 木ノ内高嘉、内海廣治、鈴木重幸、滝田博之、出利葉義次、堀内修、小林久二彦、増田浩二、篠崎勇、大石幸男、浅井徹、鈴木雅春、加藤敏美、小林玲子、岩田幸裕、諸戸明、前川朝夫、望月保  
挨拶 木ノ内高嘉会長  
静岡新聞社の寄稿の掲載が終わった。協力していただいた方に感謝している。  
2 その他  
・JMSCAから2月に基金の第1期募集の文書が届いている。一口5万円、5千万円の拠出金で基金設立をするという内容。巨額の赤字の責任問題を明らかにするのが先だという根強い意見もある。JMSCAからの補助も来年度は不透明。(鈴木雅春)

之、出利葉義次、堀内修、小林久二彦、増田浩二、篠崎勇、大石幸男、浅井徹、鈴木雅春、加藤敏美、小林玲子、岩田幸裕、諸戸明、前川朝夫、望月保  
挨拶 木ノ内高嘉会長  
静岡新聞社の寄稿の掲載が終わった。協力していただいた方に感謝している。  
3月14日に行われた日山協臨時総会で、運営において多額の損失が出ていると報告があった。そのため、丸会長が辞任し、6名の担当者が注意義務違反となった。  
1 報告事項 特になし  
2 事業計画  
(1) 指導・遭難対策委員会  
山岳レスキュー講習会が6月15日(土)、静岡県男女共同参画センター「あざれあ」で行われる。募集定員は30名。内容は、「山もリスクマネジメント」、「ファーストエイド 座学」、「ファーストエイド 実技」、「レスキュー」を行う。「レスキュー」は初級コースと中級コースに分かれて実施する。  
(2) 競技委員会  
第78回国民スポーツ大会

の静岡県予選が4月27日に実施される。4月18日に参加申し込み締め切っている。リード競技は「ブルーキャニオン」、ボルダー競技は「サニールック富士」で実施する。ルート設定費、事務使用料で運営経費が逼迫し厳しい状態である。静岡県独自の予選開催は難しくなってきた。東海地区合同で実施する方法があるが、その場合2日間で実施することになる。  
3 通常総会について  
総会資料の校正を行った。4 スポーツフェスティバルについて  
10月27日に掛川市の粟ヶ岳で行う。集合場所は、倉真温泉(こんにやく亭(登山者駐車場)。送迎のバスの運行はない。  
5 その他  
コーチ(指導員)名簿は個人情報観点から事務局で管理し、今年度から発行はしない。(鈴木重幸)

